

今までも、これからも、
あなたとつむぐ時の糸

さんいん

つむぐ

VOL. 2024 / TSU-MU-GU
38

PR MAGAZINE TSUMUGU
PRESENTED BY SOU-SEN CO., LTD.

- 01 おもちゃDr. 鳥取
Something Newの精神で
いきいきと人生を楽しむ おもちゃ+ドクター
TSUMUGU SPECIAL INTERVIEW 西尾 新治 さん
- 03 葬仙今どき終活セミナー
本来の自分に還れる「回復系お片づけ」
先取り整理で、今を豊かにパワーアップ
- 05 コラム
タイムマシンに乗って昔に行こう～【その①】
- 06 ふとふりかえれば、さんいん。

BOOK REVIEW 季節別オススメ書籍をご紹介

Something New の精神で いきいきと人生を楽しむ おもちゃ + ドクター

「生涯現役」を掲げ、おもちゃドクターとして、鳥取市のさざんか会館などでボランティア活動に精力的に取り組む西尾新治さん。西尾さんの手にかかると、動かなくなった怪獣や、音の出なくなったおもちゃが元の姿を取り戻し、依頼主の手元に返っていく。おもちゃドクターの活動を通して伝えたいことや、やりがいを伺った。

PROFILE

おもちゃドクター

西尾 新治さん

SHINJI NISHIO

おもちゃDr.鳥取代表。団塊の世代の最後の年に若桜町に生まれ、大手総合家電メーカーで商品開発をする傍ら、多数の特許実用新案を取得。退職後、鳥取県産業技術センターで7年間民間企業の技術指導を行う。現在はおもちゃドクターとしての活動のほかに、鳥取市の国際観光案内所で外国人旅行者の観光案内のボランティアにも従事。卓球、ピアノ、コーラスなど趣味多数。

社会とのつながりを求めて

おもちゃDr. 鳥取は、壊れたおもちゃを無料で修理するおもちゃの病院で、定年退職後も社会との繋がりを求め、2019年に仲間と立ち上げたボランティア団体です。在職中の約35年間に培った情報通信機器の回路設計技術と競合他社との激しい競争を勝ち抜くために叩き込まれた「Something New（新しいもの）」のアグレッシブな企業戦士の精神が、今の「生涯現役」で生き抜く姿勢に繋がっていると感じます。また33歳から技術者として二度の欧州駐在を経験し、高い環境への意識と物を大切にできる文化が深く人々の生活に浸透していることに感銘を受け、街角のあちこちに高齢者が集い、飲み物を片手に話を弾ませ生き生きと豊かな時間を過ごす風景に、あこがれと願望を抱きながら自身の将来像を重ねた記憶があります。

こうした背景から、退職後も「社会とのつながり」と「誰かの笑顔を求め」わらべ館の「おもちゃの病院」に加え、さざんか会館（鳥取市総合福祉センター）3階のボランティア室で「おもちゃDr. 鳥取」の立ち上げと、物を大切に作るSDGsの推進活動を始めました。

依頼主の喜びが活動の原動力

修理に持ち込まれるおもちゃの多くは診察時に初めて見るものがほとんどで、当然ながら設計図は無く不具合の原因を探るのはなかなか骨が折れる作業です。内部構造やプリント基板から仕組みを把握し、時には回路図を作成してようやく原因にたどり着く事もあります。この様に修理の苦労も多いのですが、お客様にお返しする時には必ずお客様ご自身の手で動作確認をいただいております。

お客様の手元でおもちゃが元の動きを取り戻した瞬間にみられるお客様の満面の笑顔こそがこの活動の励みであり次への活動の支えになっています。多くの家庭では壊れてもいまだ捨てる事が出来ない思い出のおもちゃが眠っているのではと思います。祖母から孫への思い出の贈り物や、朝から寝るまで話相手になってくれる高齢者の見守り人形、更には亡くなった人から戴いた思い出の品など、これまで治したおもちゃにはたくさんのお話がそれぞれに宿っていました。中には治せない物もありますが、約9割は治してお客様にお返し出来、その都度にもるで本当の病気を治してもらったかのように感謝・感動いただけるのは嬉しいものです。



+ おもちゃ Dr.

- モーターが×××
- 電池端子が×××
- スイッチが×××
- ギアボックスが×××

修理は、まず問診票で故障箇所を推定し、ネジを外して内部の仕組みを診断。動く仕組みを探り治療。返却時には、カルテとレントゲンの様に撮った内部写真を確認いただき不良部品も添え、再発防止の為にアドバイスをさせていただきます。

未来を担う子どもの心を育て

診察では、子どもたちと一緒にネジを緩めて、中の仕組みを一緒に見ることもあります。未来を担う子どもの好奇心を刺激して将来の理系への探求心を育み、自分でも分解や修理に挑戦してみようと思う心が育てば、私の願いはほぼ完成と言えるでしょう。

人生100年時代、稼いで働いていた時間よりも余生の方が永くなる中で、退職後も健康で楽しく生きるために社会との繋がりを確保することは大切です。私自身の今年の手始めの挑戦は自作のホームページ作成で4月によりやく完成しました。今後は修理の一連の過程をこのサイトで動画公開できればと考えています。実現したいことは尽きませんが、これからもSomething Newを探し求めて挑戦を続けていきたいと思っております。

おもちゃの修理を通して、子供たちに「モノづくりの楽しさ」「モノを大切にできる心」を伝えていきたいですね

おもちゃ Dr.鳥取

- [活動場所] 鳥取市富安2丁目104-2 (さざんか会館3階 ボランティア室)
 - ボランティア室が他のグループと重複し確保できないこともあり、事前に電話でご確認下さい。
 - <https://toy-doctor2.jimdofree.com/>
- 詳しくはホームページをご覧ください。

おもちゃ Dr. 鳥取



教えます!

葬仙今どき終活セミナー SOUSEN SEMINAR

本来の自分に還れる

回復系お片づけ

先取り整理で、今を豊かにパワーアップ

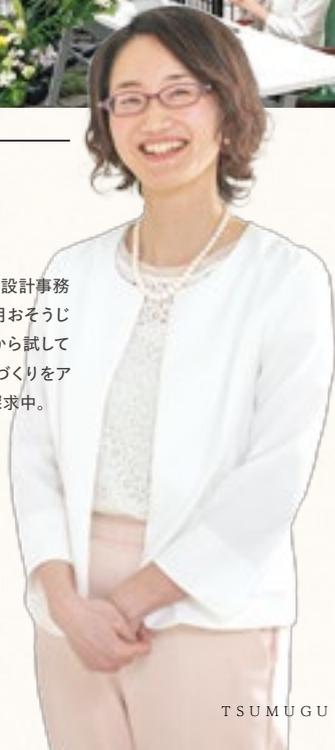
**大切なのは、自分が今後
どうしたいのかです。**

終活といえば、どうしても迷惑をかけないように生前整理を行う中での「お片づけ」が思い浮かぶのではないのでしょうか。

迷惑をかけないようにだけではなく、終わりを考えたら何をしたいのかという観点から、自分らしく生きるために取り組むのが終活です。

いろんな役割を担ってきたあなたが、一旦肩の荷を下ろして、本来の自分に還るための「お片づけ」。今日以降の日常を、自分のために使うためのものと考え、ポジティブになりエネルギーを高めるための「お片づけ」と前向きに捉えてみませんか。

あなたが笑顔でいい人生であれば、残された人も幸せです。今こそ、価値観、物、人との付き合い方などの見直し期間をとりませんか。



Q 回復系 お片づけとは？

やりたいことを思い切ってやってみる。
そんなパワーを手に入れるための
前向きな「お片づけ」です

「お片づけ」を通して、自分の好きなもの以外をどんどん削ぎ落としていくと、スキマが生まれ心も体もスッキリします。すると、本当にやりたい事が分かってきます。新しい情報や人脈が手に入るかもしれません。お家をスッキリする空間へ生まれ変わらせる事で、心と身体にもスキマを作り、今までやりたくても出来なかった事に、チャレンジできるエネルギーを身につけていただくことを目指しています。

整理収納アドバイザー

講師 | つのださちこさん

住宅メーカー、インテリアコーディネーター、キッチンメーカー、店舗設計事務所等を経て、2017年整理収納アドバイザーとして独立、2019年9月おそうじ風水を学ぶ。「家をパワースポット化」する探求が使命と感じ、自宅から試して効果を実感。風水×インテリア×整理収納で夢を刷り込ませた家づくりをアドバイスしている。運氣の流れに乗るライフスタイル確立を目指し探求中。

- 発達障害住環境サポーター基礎研修受講済み
- パーソナルコーディネーター™診断アドバイザー
- インテリアコーディネーター
- 2級建築士
- 整理収納アドバイザー1級
- 親・子の片付けマスターインストラクター
- ビジュー式片づけカードワーク®インストラクター
- おしゃれ終活®アンバサダー

Q エネルギーを高める 実践方法とは？

実際に、回復系お片づけを通して、どうやってエネルギーを高めて行けば良いのか…
心も身体も元気になって、『行動的、前向き、楽しい、ゆとり』といったプラスの要素が生まれてくる、その方法を4ステップでご紹介します。

**終活とは
今以降を楽しむ為に行う
ものと考えましょう**

理想の未来へお引っ越し

回復系お片付けの4Step

一番初めに行うべきは、本当にやりたい事はなんなのか、一度立ち止まって見つめ直すことです。今自分が置かれている環境や役割を忘れ、肩の荷をおろして振り返ってみてください。そうすると、昔やりたくても出来なかった事、これからやってみたい事が、思い浮かぶかもしれません。

次の段階では、その望みに関係ないものを整理して捨ててみましょう。「物と心」は繋がっています、その両方を整える事ができます。自分のやりたい事を、実現できる家にしていくという4つのステップが、回復系お片付けの流れとなっています。

Step 1
本当に
やりたい事を
掘り起こす

Step 2
望みに
関係ない物は
捨てる

Step 3
物と心を
整える

Step 4
なりたい自分を
家に表現する



振り返る時には、終活ノートや自分史ノートで自身の経験を洗い出すのも有効です!

終活的物の仕分けガイド

これからをつくる物事

- あこがれや理想の暮らし方に近づく物事
- 日常生活に使っている必要な物事

この機会に手放したい物事

- かつて役立った、興味がなくなった手放してもいい物事
- あなたらしさを阻害するやめるべき、捨てるべき物事

Q

やりたい事を見つけて考える方とは？

まずは終わりから考えてみましょう。最後に周りからどう思ってもらいたい、言ってもらいたいかを想像してみると、少し垣間見えるかもしれません。

また考える上で大切なのは、今の自分を延長線上に置かない事です。時間が無い、多忙である、お金がないといった状況は一旦忘れて、やってみたい事、理想の暮らしを想像してみてください。そこから逆算をして、1年後・半年後を思い浮かべる事ができるのが理想です。

そこに何を持っていくのかを考えた時に、家の中を見渡してみてください。そうすると、必要な物・いらぬ物が分かってきます。

いきなり片付けから始める必要はありません。まずは自分の人生を振り返り整理から始めてみるなど、少しずつ進めていきましょう!



CHECK

ぜひ動画をご覧ください



セミナー全編は動画で公開中!

このオンラインセミナーの様様をYouTubeにアップロードしました。すべての内容をご覧になりたい方は、こちらのQRコードからアクセスして動画をご覧ください。

ここでは紹介しきれない、回復系お片付けのもっと詳しい実践方や、考え方を配信しています!

タイムマシンに乗って 昔に行こう

【その①】

文 〓 逢束 俣
絵 〓 わたなべ さちこ



昔に行こうと言っても、そんな太古の昔ではありません。自分がまだ子供だった頃に思いを巡らせてみると、そのときの気持ちを思い出したりすることがあります。懐かしいような、恥ずかしいような、馬鹿馬鹿しいような、悔しいような、ちょっとした気持ちに手になんかなくなって早く通り過ぎてしまいたくなったりもするのですが、今回の本誌の表紙イラストを皆さんより少し先に拝見しまして、そこから触発されたのか、昔のことがふくつと頭の中をめぐり出しました。

昭和40〜50年代ごろでしょうか、各百貨店には必ず「大食堂」なるものがあつたと思います。必ず百貨店の最上階にあつて、窓口で食券を買って入る方式だつたと思います。ウェイトレスさんがお水を持ってきてくれて、食券を半分にちぎって持つていくとオーダーが通るしくみでした。その後、食事が届くたびに食券の半券が回収されていきます。ウェイトレスさんが半券の残りを確認するよくな目配りをしていたのでよく覚えています。大食堂はメニューが豊富で、天ぷらそばからエビフライ定食、

そして定番のお子様ランチまで、家族3世代みんなが満足できるような品ぞろえが魅力でした。

私もご多分に漏れずいつもお子様ランチを注文していました。こんもり盛りられたチキンライスの上にはためくお約束の国旗がどこの国の旗なのかをいつもドキドキしながら待っていました。日本なら嬉しくて、アメリカやフランス、ドイツ、イタリアあたりだとまあまあ。よくわからない旗だとちょっとがっかり。あたりハズレは別として必ず持つて帰るのですが、いつも家で紛失して全くコレクションになっていませんでした。

と、そのような記憶がある一方で、同じ百貨店の中で洋食のレストランにもよく行つていた記憶もあるので。窓際の眺めの良い席で、いつもビーフシチューを頼んでいたことを覚えています。いつのまにか「大食堂」から「洋食レストラン」になつていたのは、「大食堂」が無くなつてしまつたのか、家族が単にそちらを好むようになったのかはよく覚えていないのですが、ふたつの記憶がまざつていて、でも、家族で百貨店に買い物に行つて食事をしたことが懐かしい

思い出です。駐車場に入る渋滞の列と家族の買い物に付き合う時間は苦痛でしたが、食事とおもちゃ売り場は本当に楽しみでしたね。

それにしても「大食堂」はどうして日本全国の百貨店からなくなつてしまつたのでしょうか？ 今風にいうとショッピングセンターの「フードコート」がその代役になつたのでしょうか？ 確かに家族みんなでそれぞれが好きなものを食べることができますものね。でも、「大食堂」のあの独特のムードは代替の効かないものだつたような気がします。

ふと人生を振り返ると二度と体験できないことがたくさんあります。離れたときは何も意識しなかつたのに、後になってあのころは良かったな、あの店がまだあつたら絶対もう一度行きたいのに、などと思うことが増えているように感じます。と、いうことは、なにげに過ごしている今の毎日が、何年か経つてみると懐かしく思い出しながらも取り戻すことのできない昔になるのかも知れません。こうして、タイムマシンがあつたら行きたいところは歳と共に増え続けるのですね。



ふとふりかえれば、さんいん。

ふと思い出すとなつかしい。今はなきあのころ、あんなこと。

Vol.2

昭和50年代

楽しく歩いた田園風景の通学路

| 松江市在住・50代女性 |

安来市内を流れる飯梨川近くに広がる田園地帯に、当時私が通っていた安来市立赤江小学校はある。集団登校や車で送り迎えをする今とは違い、子どもだけで40分もかけて登下校するのは普通だった。道中よく目にした鳥は、シラサギかアオサギか、季節によってはコハクチョウだったかもしれない。

遮るものない見通しの良い田園風景を、赤江八幡宮のある「ぶり山（武嶺山）」を目指して北へ歩く。商店などはあまりなく、乳牛を飼っているところがポツポツあった。田んぼ脇には水路があり、夏になると靴を脱いで水路の中を歩いたり、ランドセルの中身をひっくり返してしまうこともあった。夕暮れ時には神社で寄り道したりもした。

今から20数年前、通学路を横切るように安来道路

が架かり、当時の景色はガラッと変わってしまった。赤江小学校に通う同じ地区の子どもたちは、ぶり山手前のバイパスを潜って学校へ向かうのであろう。安来道路を車で走る時、眼下の母校を眺めては、スピードをゆるめて当時の光景を思い出す。

現在の赤江八幡宮とぶり山



提供：赤江交流センター

「自分の思い出をまとめてみたい」という方向けに『自分史ノート』がございます。詳しくは葬仙スタッフへお問合せください。

BOOK REVIEW

季節別オススメ書籍をご紹介



book review 01

『さんかく』

著者：千早茜
出版社：祥伝社
定価：¥792(税込)

京都の町家で暮らす夕香と、以前のバイト先の後輩・正和は同居をはじめること。同居の理由は食事の趣味が合うからで、男女の関係ではない二人だったが、仕事を最優先にする恋人の華に、正和は夕香の存在を明かせずにいた。「おいしいね」を分け合える存在に出会ってしまった。三角関係未満の揺れをそれぞれの視点で描く物語。



book review 02

『かしましめし1』

著者：おかざき真里
出版社：祥伝社
定価：¥990(税込)

おいしいご飯は心を救う。美大出身の千春・ナカムラ・英治の3人は、ある同級生の死をきっかけに再会する。パワハラで仕事を辞めた千春、元恋人の本社復帰で異動を命じられるナカムラ、一緒に暮らす恋人とままならない英治。それぞれに人生にまがずきを感じながらも、日々集まっておいしいご飯を作り、食べ、語らう。それは、なくてはならない温かで幸せな時間……!

夏の選書
テーマは
こちら

Summer theme

思わずおいしいご飯が 食べたくなる本



今井印刷(株) JPIC読書アドバイザー 津田千鶴佳

[夏の企画展] 岳獅会山岳写真展～高みをめざして～
6/29(土)～8/4(日) [場所] 大山自然歴史館



撮影:岳獅会会員

四季を通じての様々な活動から、見たことのない大山を紹介します。

○岳獅会(がくしかい)

岳獅会は大山の裾野に拠点がある鳥取県西部の山岳会です。岩登り、沢登り、バックカントリースキー・スノーボード、縦走登山、雪山登山、アイスクライミング、スポーツクライミング、ハイキングなど、四季を通じて積極的なアウトドア活動をしています。

お問い合わせ | 大山自然歴史館 / TEL : 0859-52-2327

令和6年度 米子市美術館 特別企画展 米子の書 ー先人と現代 書の祭典ー
7/21(日)～8/25(日) [場所] 米子市美術館 ※水曜休館



児玉玉立《羅隠詩 牡丹》
制作年不詳、六曲一隻屏風
米子市美術館蔵

本展は、昭和期(主に昭和20年以降)における先人の米子の書を中心に、現在書活動を行っている書作家たちの作品もあわせて紹介します。パソコン、スマートフォンを誰もが持っているこんにち、手書きで文字を表すことが少なくなった時代ですが、書体の違いや書のみさ、楽しさなども紹介し、「米子の書」の次世代への橋渡しと、さらには発展へと繋ぎきっかけとなるようにと開催するものです。

お問い合わせ | 米子市美術館 / TEL : 0859-34-2424

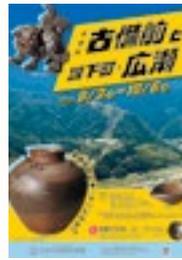
令和6年度夏季企画展 「古代の秘宝を探せ!! ～イセキノヒミツ～」
7/6(土)～8/26(月) [場所] 鳥根県立八雲立つ風土記の丘展示学習館
※火曜日休館



今年の夏も飛び出す絵本で大人気、よしとさんとのコラボ企画で風土記の丘を楽しもう!
今回のテーマは“遺跡の謎”。発掘調査でみつける住居やお墓とその出土品を展示します。謎解きクイズラリーに全問正解すると、よしとさんお手製のオリジナルシールをプレゼント!
※中学生以下対象。参加無料(同伴される大人の方は入館料が必要)

お問い合わせ | 鳥根県立八雲立つ風土記の丘 / TEL : 0852-23-2485

[企画展] 古備前と城下町・広瀬
8/3(土)～10/6(日) [場所] 安来市加納美術館
※火曜日休館(祝日の場合は翌日)ただし、8月13日は開館します。



久々の備前焼展。当館所蔵の古備前から選りすぐりの秀品を展示します。また、月山富田城(安来市広瀬町)の旧城下町は1666年に洪水で水没。1980年代の発掘により戦国時代に使われた備前焼などの陶磁器も大量に発見されました。本展ではそれらの出土品もあわせて展示。歴史ファンの方にも垂涎(すいぜん)の展覧会です。

お問い合わせ | 安来市加納美術館 / TEL : 0854-36-0880

【 編集後記 】

特集で掲載した終活セミナーは、6月に開催されました。その中である女性が、遺品整理で亡き夫の靴を並べて磨いた後、キレイにゴミ袋に入れて、そとごみ置き場に置いたというエピソードがありました。捨てる物ですら大切に扱うことで故人の弔いや自分の気持ちを大切にすることになるそうです。

私も叔母の遺品である洋服を引き取ったままになっています。次の休みにまずは洗濯してキレイにたたんでみようと思っています。



表紙イラスト Illustration = わたなべさちこ

デパートに行く日は特別な日でした。お出かけ用のワンピースを着て、大人の買い物が終わったら屋上の子供ランドで1回だけ乗り物に乗りました。お子様ランチやアイスクリームも、普段は食べられないご馳走でした。女性が手にしているのは、鳥取丸丸さまの写真です。ご家族の誰かの思い出の場所なのでしょう。

葬仙からのお知らせ

鳥取県・鳥根県 お葬式個別相談会

2024年
9/15日 10:00～15:00

10/14月祝 10:00～15:00

11/23土祝 10:00～15:00

- 鳥取ホール
- 岩美ホール
- 安倍ホール
- 皆生ホール
- 金持テラスひのホール
- 境港ホール
- 松江葬祭会館
- 東朝日町ホール
- 吉方ホール
- 米子葬祭会館
- 米原ホール
- 余子ホール
- 比津ホール
- 安来ホール

新葬仙倶楽部のご案内

会員は充実したサービスと、ご安心頂けるサポートが受けられます。

入会金は
1万円のみ

月々の
掛金不要

年会費は
一切不要

会員特典

<葬儀基本料金等から10%割引><供花・花環の5%割引>その他にも多数特典がございます。

ホームページはこちら。「葬仙」で検索してご覧ください。 <https://www.sousen.co.jp>



葬仙 ご葬儀相談ダイヤルまで
お気軽にお問い合わせください。

通話無料・365日・
24時間受付

0120-444-200